

第11回瑞浪市総合計画審議会 会議録

日時：令和5年11月6日（月）14:00～15:30
場所：瑞浪市役所本庁舎 4階全員協議会室

次 第

1. 会長あいさつ

2. 議事

(1) 第10回瑞浪市総合計画審議会会議録について

資料1

(2) 第7次瑞浪市総合計画基本計画について

①基本計画（案）パブリックコメント結果について

資料2-1

②基本計画（案）に対するご意見と市の考え方

資料2-2

③基本計画（案）について

資料2-3

④第7次瑞浪市総合計画基本計画の策定について（答申）

資料2-4

(3) 第7次瑞浪市総合計画基本構想（ビジョンブック）について

みずなみVISION

資料3

3. その他

出席者

出席委員

加納富雄 委員 小島博和 委員 滝本一司 委員 早瀬邦夫 委員 勝股清治 委員
中林京子 委員 岩島 敬 委員 中山千鶴 委員 小池 誠 委員 林 一子 委員
萩尾英明 委員 稲垣昌克 委員 土屋誠治 委員 熊澤清和 委員 林 雪華 委員
威知謙豪 委員 大宮康一 委員 森島嘉人 委員 東恵理子 委員 小木曾めぐみ委員
玉川幸枝 委員

[名簿順]

欠席委員

鈴木圭子 委員 安藤八重子 委員 山口富子 委員

[名簿順]

【瑞浪市】

瑞浪市理事兼総務部長 正村 和英

【事務局】

加藤 昇 （企画政策課長）

津田 良介 （企画政策課企画政策係長）

三浦 啓輔（企画政策課企画政策係）

【第7次瑞浪市総合計画策定業務委託事業者】

本間 裕之（株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所）

【事務局】

これより第11回瑞浪市総合計画審議会を開催する。本日はお忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。会議の冒頭は事務局で進行させていただく。私は企画政策課長の加藤である。

それでは審議会を進める。本会議の公開を了承していただく。レジメに従い進行する。まず、大宮会長よりあいさつをお願いします。

1. 会長あいさつ

【会 長】

本日はお忙しい中、会議に出席していただき感謝する。前回の第10回審議会では、第9回審議会以降に寄せられた第7次瑞浪市総合計画基本計画（案）に対するご意見とその回答について説明を頂き、それを踏まえた基本計画（案）、また基本計画（案）に対して実施するパブリックコメント実施要領について審議しました。

本日は、第7次瑞浪市総合計画基本計画（案）に対して実施したパブリックコメントの結果とご意見に対する市の考え方について説明していただく。また、パブリックコメントを踏まえた基本計画（案）について説明していただき、併せて第7次瑞浪市総合計画基本計画の答申案を提示し、委員からの審議をいただく。議題の最後に9月議会で議決された第7次瑞浪市総合計画基本構想を視覚的に分かりやすくしたビジョンブックの案についても審議していただくことになっている。

本日が最後の審議会となる予定である。皆さまの意見のおかげで素晴らしい基本構想、基本計画が出来上がったと思っている。最後になり少々寂しい気がするが、またこうした場があれば良いと思う。本日も活発な意見交換の場になるように協力をお願いします。

2. 議事

【事務局】

本日の資料の確認をする。事前に送付したレジメと資料1から資料3までの全部で6種類である。本日、机上に配布している第11回瑞浪市総合計画審議会に関するご意見等要旨を含めると、全部で8種類ある。

以後の進行は大宮会長をお願いします。

【会 長】

議事に入る前に、本日の審議会の出席状況について報告する。委員総数は24名で、本日21名が出席している。瑞浪市総合計画審議会設置条例に定める要件である過半数の出席を満たしており、会の成立を報告する。

それは議事を進める。(1) 第10回瑞浪市総合計画審議会会議録について事務局の説明をお願いします。

(1) 第10回瑞浪市総合計画審議会会議録について

【事務局】

資料1 9月27日に開催した第10回審議会の会議録案である。委員の承認後、市のホームページで公表する。発言した委員の名前は記載せず、「委員」と表記している。確認をお願いします。

【会長】

事前に手元に届いているので、ご覧になっていると思うが、自身の発言内容やニュアンス、意味が違うなど、記載について誤りや修正等があれば、ご発言をお願いします。

(意見なし)

【会長】

特に修正等がなければ、この会議録をもって確定して公表していく。後日、修正があればまた事務局にお伝えいただきたい。この案で確定して、公表していきたいと思うが、よろしいか。

(異議なし)

【会長】

続いて、(2) 第7次瑞浪市総合計画基本計画についての①基本計画(案)パブリックコメント結果についてから④第7次瑞浪市総合計画基本計画の策定について(答申)までの4つについて一括して審議する。事務局から説明をお願いします。

(2) 第7次瑞浪市総合計画基本計画について

①基本計画(案)パブリックコメント結果について

【事務局】

資料2-1 令和5年9月21日から令和5年10月20日までを意見募集期間として市役所、各コミュニティーセンター、市ホームページ、広報9月号で資料を公表し、意見のある方は、企画政策課持参、郵送、ファクス、メール、専用オンラインフォームのいずれかの方法でご意見をいただいた。閲覧件数は229件あり、意見提出は市内在住の2名から計4件のご意見をいただいた。

②基本計画(案)に対する意見と市の考え方

【事務局】

資料 2-2 いただいた 4 件のご意見について説明する。資料 2-2 をご覧いただきたい。

1 番の意見は、「前回の計画からどのように変わったのかが分かりにくい。これがないと意見がしづらい」というご意見だったので、早急に対応すべきと判断し、パブリックコメント期間中に対応した。第 6 次瑞浪市総合計画と第 7 次瑞浪市総合計画の構成の比較が分かるものを作成し、パブリックコメント期間中の 10 月 5 日より市ホームページに掲載した。意見をいただいた方には、ホームページに掲載した際に対応の内容を連絡した。

2 番目の意見は、「市民アンケートにおける、回答者の年齢別の分析がない。どの世代がどのような意見を持っているのかが分からないため、有効な対策についても判断できない。中でも不満を感じる若年層の意見を聴かないと転出者は増え続けるのではないか。」という趣旨の意見をいただいた。基本計画（案）の資料編については、市民意見聴取のために実施した取組内容及び結果の一部を簡潔に示すこととしていること、別で市民アンケートの結果を年度ごとにとりまとめ、市ホームページで公開していることを知らせるとともに、若者意見の聴取としては、小中学生アンケートやフューチャーセッション in みずなみ（学生ワークショップ）を実施し、未来を担う学生たちの率直な意見を伺った。

こうした若者意見のキーワードとして、施設の充実を求めるもののほか、「子育て支援の充実」「若者が住みよいまちにする」「様々な情報発信ツールを活用した積極的な市の魅力の発信」などが挙げられる。こうした意見も踏まえ、「子育て支援」や「シティプロモーション」を重点施策に位置付けるなど、第 7 次瑞浪市総合計画の計画期間中に特に推進すべき施策としていることを説明している。

3 番目の意見は、瑞浪駅周辺再開発事業についての内容である。「駅前に送迎車が待機する広いスペースの確保」「通勤者のために駅裏駐車場に直結した通路の整備」「駅前商店街の活性化は困難。予算は他の事業に」という 3 項目が挙げられた。回答としては、瑞浪駅南地区市街地再開発事業で駅前広場の拡張を検討しており、より使いやすくなるように送迎車の待機や乗降スペースの見直しを行うこと、併せて駅北改札口の整備に向けた協議を進め、送迎車の分散を期待していること、また、北改札口を整備する方法が最も経済的であり、事業期間も短いと考えていることを述べている。

住む人だけでなく、駅を利用する人や訪れる人にとっても便利で魅力あるまちを目指し、商業機能についても現在のニーズに合った店舗等の整備ができるように関係者と取り組んでいくことを説明している。

4 番目の意見は、「中山道が好きでよく歩いていたが、最近は鶏舎、豚舎の匂いが嫌で足が遠のいている。」という意見だった。難しい問題だが、市と公害防止協定を締結している畜産事業者の中には、臭気に係る自主検査を行っており、数値に異常が認められた場合、聞き取りや、状況に応じて事情の聞き取りや、注意喚起などを行っているという現状を説明している。

以上、4 件のご意見に対する回答として作成した。

③基本計画（案）について

【事務局】

資料 2-3 こちらが最終的な基本計画案となる。パブリックコメントの意見に対して、この計画案を修正する内容はなかったが、パブリックコメント期間中に並行して各課で分かりにくい表現、文言がないか再確認し一部修正した。言い回し等を変更している部分がある。その部分は赤字で記して分かるようにしている。

併せて資料編の 60、61 ページに掲載する内容について、会議等の進捗があったものは随時更新している。

また 10 ページの「協働の推進」について、令和 4 年度に実施した自治会・まちづくり推進組織ワークショップ（みずなみ“未来”カフェ）をベースとした記載をしている。今年度このワークショップをベースとした地域計画の策定に向けたワークショップを各地区で実施中である。各地区の策定状況を踏まえ、最終調整して記載内容を整理する方針である。

以上、基本計画案の説明である。

④第 7 次瑞浪市総合計画基本計画の策定について（答申）

【事務局】

資料 2-4 審議会から市長に対しての答申案になる。資料に「1. 第 7 次瑞浪市総合計画基本構想の審議会案について」とあるのは、「基本構想」ではなく、「基本計画」である。訂正をお願いする。

朗読をするので、確認をお願いする。

（答申案、以下朗読）

以上、答申の案とさせていただきます。（2）第 7 次瑞浪市総合計画基本計画についての全般の説明を終了する。

【会 長】

これまでのご意見等を踏まえ、案としてかなり仕上がってきたものになった。質問、発言をいただきたい。

【委 員】

71 ページの職員アンケート調査結果で、26.0%が第 6 次瑞浪市総合計画を「全く読んだことがない」と回答している。市行政は第 6 次瑞浪市総合計画に基づいて行われ、市職員はそれに向かって仕事を進めると思っている。見解をお聞きしたい。

【事務局】

職員アンケートの結果は大変重く受け止めている。私たちもこの第 7 次瑞浪市総合計画を作成するに当たり初めて職員アンケートを行い、衝撃的な結果だった。係長以上は読んだ人は多いが、その下の係員で読んでいないケースが多く見受けられた。改善策として、令和 5 年度から新人職員が入庁時に行う新人研修で、総合計画は市の最上位計画であり、まちづくりの指針であるという基本的な内容を説明している。基本計画の 51 ページにも、職員の

研修全般の取り組みを記載している。第7次瑞浪市総合計画からは「全く読んだことがない」という職員はいないようにしていきたい。

【会 長】

衝撃的な数字であるが、個人的にはそれだけ忙しかった面もあるのではないかと思う。大学に勤めているとさまざまな資料や回覧が回ってくるが、正直に言うと、私も含め職員も悠長に読んでいる暇がない。意識改革としては、市がこうした資料を読み込み、勉強する時間を職員に与え、余裕を持ってほしいというのが個人的な意見である。勉強というより職務に当たると思うが、職員が業務前に読むことは重要だと思う。

【委 員】

委員からの指摘のように、驚愕の結果という部分はあった。民間企業だと、会社が進む方向性や全体会議で進む方向を示せば、一致団結して向かうのは当然と思う。自分の担当と関係する部分だけ読んだという記載もあるが、職員は短い期間で異動があり、この回答はないだろうと思う。まちづくり推進協議会などでは、第7次瑞浪市総合計画の話がなかなか浸透していない面もあり、市全体と各地区での足並みがそろわない部分も出てくると思う。計画内容を10年後に振り返る際に、再びこうした結果が出てくれば、今まで何をしていたのかと市民からお叱りの意見も出てくると思う。審議会も時間を割いて計画を作成したことも踏まえ、今後このような結果が出ないように市役所全体で取り組んでいただきたいと思う。

【事務局】

上司が部下に対して情報共有することは重要であり、社会人として当然なことが徹底されていなかったことが浮き彫りになった。与えられた仕事だけを行う職員では社会情勢の変化に対応できない。市民の多様なニーズに対応するため、職員研修はもとより、自分で考えて課題を見つけ、解決する能力を高めるために、政策形成能力を職員一人ひとりに持って欲しいと考えている。今回、さまざまな場面で総合計画策定のキャンペーンを初めて実施し、第6次瑞浪市総合計画のアンケートの結果よりもかなり改善していると自負している。今後、世代が異なる若い職員に対してもしっかりと指導し、共有していくように努めたい。

【会 長】

ここ数年、課を跨いだ職員研修を担当し、新しい政策立案を考える際、基本的な考え方や市全体の総合計画に沿った形で、具体的にしっかりと仕上げることを目標に進めている。そうした研修を経た職員が各課で力を伸ばし、若手の育成に力を割いていただきたいと思っている。市の各計画については、市民に浸透しているからこそ、職員がきちんと説明していかなければならない関係性が出来上がれば良いと思っている。職員だけでなく、市民も理解し、自分ごととして考えていく状況になることが最も望ましいと考えている。

【委 員】

パブリックコメントの閲覧はわずかに229件、コメントは4件で、市民の関心度がいかに

低いかを感じた。行政よりも市民がより関心を持ち、行政からの案をたたき、両方合わせて進めないと、ビジョンだけがあって状況は変わっていないとの実感が強くなっていく。行政側の認知度を深める研修会を行っているが、目を引くキャンペーンはあっても市民が自ら住む町の将来に関心を持っているのかが伝わっていない。自分が住むまちをどのようにより良くしていくのか、それをプッシュする案を出そうという雰囲気が出てこない、第8次瑞浪市総合計画の策定を迎える時も、数値も動かず変わらないという予想になってしまえば悲しいことであるので、よろしくお願ひしたい。

【事務局】

委員の指摘どおりである。今後10年間の計画となる第7次瑞浪市総合計画の取り組みでは、幅広い世代、特に中高生から10年後に希望する市の将来像を聞くようにした。若者からは積極的で前向きな意見が多かったとの印象だったが、自分の思いを伝えるところがなかったと学生から意見をいただいた。市は地域と学校がつながる取り組みの域学連携の中で、中高生、大学生を対象に設けた「ミライ創ろまい課」という架空の課に各校の代表を招き、市を良くするまちづくりや、総合計画に対する意見を聞いてよく分かったところである。

基本計画の重点施策として、子育て支援とシティプロモーションがあり、市の魅力の情報発信に力を入れていきたい。今後、若者に響く施策や行政に参加できる仕組みづくりが非常に大事になってくる。行政側だけでは気づかない点が多くあり、さまざまな場面で意見をいただければありがたい。

【会長】

瑞浪市は他の自治体に比べ、若者から意見を吸い上げる仕組みをつくろうという姿勢が明確に見えており、市民を巻き込む動きは活発ではないかと感じている。難しいのは、小中学生が行政とどう関わるかという点である。まちづくりは選挙との関わりもあり、選挙権がないため意識しにくいところではあるが、主権者教育の進展はいかがだろうか。

【委員】

子どもたちはコロナ禍の4年間で、地方の政治によって学校の休校や行事の中止をなど苦しい時期を経験してきた。SNS等で自ら情報を取り、考えるツールを通じてそうした制約を考え、政治が身近になっていると思う。市長と語る会や、市の主張大会に参加して、現状を危惧する若い世代は多いと感じている。市が子どもたちからさまざまな形で意見を抽出していただくのであれば、すぐに対応して効果を見せていかないと、「参加しても駄目だった。言っても駄目だった。」といった経験が不信感を招く。この良い流れを維持していただき、若者の意見によって施策が変わった点を早く見せてあげないと、離れていく動きも速いと思う。会長からの指摘もあったように、大人が思っている以上に若い世代は政治に関心があると思うので、正しい大人の背中を見せていく必要があると思う。

【会長】

子どもたちの状況を詳しく説明していただいた。子どもたちにとって、コロナ禍で不遇な

時代だった半面、行政や政治の見方など、今後につながる視点も得られたと思っている。教育現場で難しいことは、学校で政党や政治について語れないところであり、教師も苦慮していると思う。そういう意味では、学外での活動が子どもたちの学ぶ機会になればと思う。

【委員】

ビジョンブックに期待している。総合計画はボリュームがあり、若い人にとって読みづらく、手を出しにくい。市民がビジョンブックを手にとって読む機会を提供できるかどうか、市民参画の最初の一步と思う。ビジョンブックが出来た際には多くの人に届くように努め、ともに読める場の機会提供が市からあればと思う。また、市民一人ひとりがまちづくりの主体として声を上げ、意見を出す行動に移せるような踏み込み方ができれば良いと思った。

【事務局】

市民にとって総合計画はなじみがなく、審議をしていただきながらビジョンブックを進めてきた。最終的に形が出来た後、総合計画が始まる4月に全戸配布する。また、QRコードを使って、ビジョンブックと基本計画、実施計画等とも関連付け、知りたい人は入り込めるような形で周知を考えている。若い人にも広めるため、市の公式 SNS 等の活用も含めて最大限に周知を図りたい。「一人ひとりがまちづくりの主体」である旨を簡潔に書いているが、地域計画の策定なども含め、協働の推進を積極的に取り組みたい。

【委員】

38 ページの「(2) 新たな産業の創出及び複合型産業への転換」で、「リニア中央線の開通を見込み、企業誘致のための誘致を見込み」と記されているが、企業誘致の用地がない話も聞く。こうした施策をどう進めるのか具体的に聞きたい。企業進出がしやすい環境づくりについても、他市と比べて示すことができる特色があれば教えてほしい。

【事務局】

企業誘致のための瑞浪クリエイション・パークを開発し、全て埋まっている状態である。市内には宅地が少なく、7割を占める山林も制限付きの保安林が多く開発が難しい。そのため、大規模な誘致は今後難しいと考えられるが、一定規模の用地を求める企業からの問い合わせは多い。ある程度の造成で使える農地もあり、現在国道19号沿いで企業用地向けに現在造成しており、こうした開発手法を考えている。大規模な開発は瑞浪クリエイション・パークまでとなる。企業が進出しやすい環境づくりとしては、企業立地における優遇(奨励金)制度がある。固定資産税相当額を5年間奨励金として交付し、固定資産税が実質的にかからない市独自の取組で、今後も継続したいと考えている。企業には大小あるが、スタートアップや起業を目指す方には、瑞浪市新たな事業チャレンジ支援補助金(上限500万円)を活用してもらい、市内で事業を行ってもらおう特徴的な制度である。今後、瑞浪クリエイション・パークのような開発は難しいが、小回りの利く柔軟性を生かした企業誘致、支援を行っていききたい。

【会 長】

他に質問・意見はあるか。

(質問・意見なし)

【会 長】

市政の取り組みについても指摘をいただいた。職員・市民の双方が歩み寄り、理解を深めながら進めていく必要があると思っている。

それでは、(2) 第7次瑞浪市総合計画基本計画の①から④まで、原案どおりに決したいと思うが、よろしいだろうか。

(異議なし)

【会 長】

認めていただき、感謝する。

それでは、(3)「第7次瑞浪市総合計画基本構想(ビジョンブック)について」の説明をお願いします。

(3) 第7次瑞浪市総合計画基本構想(ビジョンブック)について

【事務局】

資料3 こちらがビジョンブックのデザイン案となる。記載の文言について、審議会から答申を頂く中で基本構想案を策定し、9月議会で議決されており、ご承知を頂ければと思う。

総合計画が市民と行政のまちづくりの指針という位置付けでありながら、認知度が低いという実情を踏まえ、写真等を豊富に使い、視覚的に訴え、手に取りやすい形を目指して「ビジョンブック」として作成を進めている。

総合計画を身近なものに感じていただくため、ビジュアルやデザインにも注力し、将来都市像やまちづくりの方向性といった「ビジョン」を分かりやすく、市民に伝えていきたいというコンセプトである。写真については、現段階のデザイン案のたたき台としているものである。さらに検討を重ね、それぞれのページのイメージがより皆さまに伝わるようなものにしていきたいと考えている。

令和6年1月頃には写真や全体のデザインを確定し、印刷・製本に入る予定である。広報4月号に合わせ全戸配布する予定である。この審議会を含め、携わっていただいた方々には、3月末頃を目処に個別に発送させていただきたいと考えている。

ビジョンブックはA4のイメージで見えていただきたい。

【会 長】

紙質はまだ決まってないのか。

【事務局】

強コート紙で光沢のあるものを使い、写真等が映えるようにしたい。

【会 長】

ただ今の説明に対して質問、意見等はないか。

【委 員】

こうした冊子の場合、文字が非常に小さくて読みづらく、見たくないと感じる。私が高齢者かもしれないが、文字を詰め込み過ぎると、読みたくないと思ってしまう。それが市民に伝わらない原因ではないか。分かりやすく、文字を大きくするようお願いしたい。

【事務局】

資料では小さく見えるが、A4になってもまだ小さいのではないかという意見だと思う。伝わりやすさを大原則として考えており、デザインのバランスなどを考える中で文字のサイズは可能ところは大きくしてより伝わるように、来年1月までには構成も考慮し進めていきたい。ご意見として承る。

【会 長】

見やすさも大切かと思う。「文字が小さくても読みましょう」というのが基本的な話で、意識の問題があると思う。しかし、読みたい人でも読みにくいのは好ましくなく、読みたいと思う人がさらに読みやすいものにしていただきたい。見やすいものを作り、読まないといけないという気持ちも含め、その辺の意識が大切である。

【委 員】

議会を通過して、文言の変更は不可という理解でいいのか。

【事務局】

文言の変更はしない。しかし20、21ページにある「瑞浪市はこんなまち」は議会の議決時には付けておらず、タイトルについてより分かりやすく表現するために、この程度の文言の表記については変更は構わないと考えている。基本的に黒字で書いている説明についての文言の修正はしない方向である。

【会 長】

文言は変更しないが、見やすさなどに関する意見は伝えてもいいということか。

【事務局】

そうである。

【委 員】

若い人はスマートフォンをよく見ていて、好きな時間や空き時間などで外でも簡単に見

られるのがいいと思う。市報など紙での配付よりも、スマートフォンで好きな時間にゆっくり読めるためいいと思う。ビジョンブックはスマートフォンなどで簡単に見ることができるのかというのが良いと思う。また、市報で火事や催し物のお知らせがあるが、若い人たちは新聞も購読していないため、市内の催しなども SNS 等などで知らせたほうが参加に結びつくのではないかと思う。瑞浪離れに対しても、移住した場合の報奨金などの制度紹介も SNS 等で発信していけばいいのではないかと思う。

【事務局】

最終的にはビジョンブックに QR コードを付けてスマートフォン等で読み取れるようにしたい。広報に合わせて紙で配付することを決めているが、ペーパーレス化が進み、データ化についても悩んだところである。しかし総合計画が市民全員に関わるものであるとの観点から全戸配付と QR コードによるデータ展開の両方を併用したいと考えている。全戸配付することで、紙で読みたい人にも応えることができ、添付の QR コードを読み取って PDF で保存することもでき、広報が届いた世帯の全員が共有できると思う。パブリックコメント実施時に市公式の instagram や X などでパブリックコメントの周知も行ってきた。SNS 等も活用しながら、総合計画の完成については大きく周知したい。それにとどまらず、今後も総合計画を絡めながら、認知していただけるように継続して工夫していきたい。

【会 長】

さまざまな媒体を通して市民に届けることも重要と思う。

【威知委員】

全体を通して、弱視の対策も含めユニバーサルフォントなどの配慮がなされているのか。

【ジャパン総研】

色弱については確認したいが、ユニバーサルフォントは使っている。

【会 長】

いろいろな世代の人が読みやすいフォントがあり、公的な印刷物に使うことでより読みやすくなると思う。色弱の方への配慮としては、見えやすい緑を基調にするなどの話は聞いており、そのような工夫をしていただければと思う。

【委 員】

ビジョンブックについて、紙やデータ形式の他に、内容は変えずに説明を加える動画を作成すれば比較的入りやすいのではないか。関心があればさらにデータやペーパーで読ませる二段構えも可能であると思う。SNS 等は活用されるが、情報がいくら配信されていても、本人がキャッチしようとしなければ片思いになる。瑞浪市に関心を持ってもらい、見てみようと思わせるポイントも必要になるのではないか。

【事務局】

市制 70 周年記念事業などを行う中で、小学生からの意見聴取するため手作りで動画を作成して校内で流して、児童から意見を聞く取り組みを行った。委員の指摘のとおり、情報をキャッチするのに文字と動画では印象が全く異なり、伝わり方も違って勉強になった。第 7 次瑞浪市総合計画についても、事務局内でもそのような話が出ている。幅広い世代の人に伝えるための工夫は基本計画の課題でもあるが、瑞浪市は情報発信が弱く SNS 等も使いながらさまざまな課題の中で模索している。手に取って読むことができる紙が良いとする世代もあり、若い人のようにスマートフォン等デジタルで見たいという世代もある。全世代に伝わる方法を工夫し、さまざまな手法で伝わるようにしていきたいと思う。動画の作成がどうなるかについてはこの場で言えないが、若い人には響くところであり検討して工夫したい。

【会 長】

動画を作るにしても、スライドショーのようにページにコメントを交えながら 1 分ぐらいにまとめて読んだ感じになるものが良いと思う。委員からの指摘もそのようなイメージであると思っている。

媒体については、送る側よりもどのように受け取るかというところがある。SNS 等には取りにいかないと掴めない情報である。関心がない人にどう配信するかが必要である。世代に関係なく、紙で話をしてそこがスタートになると思うが、媒体の性質を見極めながら工夫していくことが大切だと思う。

【委 員】

ビジョンブックは審議会で話した内容が盛り込まれていいと思うが、計画の実行がスピーディーになされないと、逆に市民から不信感出てくると思う。政府が打ち出した一連の子育て対策も、子育て世代にはその後どうなっているのかと不信感を招いている。短期的に結果を出して効果を示したり、進捗が分かるように周知や報告の仕方も加味しながら、広報に掲載されたりすれば分かりやすくなると思うので、検討していただきたい。

【事務局】

第 7 次瑞浪市総合計画は作って終わりではない計画であり、指摘のとおり進捗管理は重要になる。毎年課題を整理しながら、10 年間で取り組むべき内容を盛り込んでいるが、社会の変化が激しい中、速く動かないと効果が表れないところもある。優先順位を付けてスピード感をもって取り組み、進捗管理や市民に発信していく工夫をいろいろと考えていきたい。ただ行政だけでできるものとできないものがあり、シティプロモーションの考えの下、企業や学校、まちづくりに関わる皆さまが関わる中で課題を解決してより良くなればいいと考えている。

【会 長】

ビジョンブックに関しては、机上に意見を出す用紙もあり、ご意見を頂けたらと思う。意見の反映状況を委員がどのように確認できるかについて回答をお願いする。

【事務局】

お手元に配布した「第 11 回瑞浪市総合計画審議会に関するご意見等」というペーパーもしくはメールを使って、ビジョンブックについての意見があればいただきたいと思う。11 月 14 日（火）までに提出いただければと思う。全体を通しての意見については、基本構想は既に議会議決がなされているため、基本計画については気になる箇所があれば、ぜひ聞かせていただき、可能なものは反映していきたい。

【会 長】

意見があればできるだけ多く反映していただけるということで、事務局に任せることでよろしいだろうか。

【事務局】

意見をいただいた後、皆さまに考えの中身をフィードバックさせていただき、ビジョンブックに落とし込めるかどうかも含め、いただいた意見を共有できるような形でお返ししたいと思う。

【会 長】

今回ビジョンブックに関して意見をいただき、できるだけ反映されたものを完成前にお知らせいただけることでよろしいだろうか。それをもって皆さんの意見がどう反映されたのか、最終版が出来る前に皆さんが目にするができると思う。

【事務局】

今回はたたき台としてビジョンブックを示している。提示したイメージで進むが、掲載している写真も現段階のもので意見があれば伺いたい。

【会 長】

コロナのためにマスクを着用した写真であるが、表情がわかる写真のほうが望ましいといった意見があれば、いただくと良いと思う。ビジョンブックは意見をいただきながら、原案の中で進めていくということでした承をいただいたと思う。

長時間にわたる審議と意見をいただき感謝する。これをもって第 11 回瑞浪市総合計画審議会の議事を終了する。進行を事務局にお返りする。

【事務局】

建設的で活発な意見を頂き、参考になり感謝する。

3. その他

【事務局】

本日、基本計画答申案の審議を頂き、原案通り可決されたため 11 月 8 日、大宮会長から

市長に対し答申を行っていただく。その後、答申を踏まえ市で第7次瑞浪市総合計画の基本計画案を決定する。これは市議会の議決案件になっており、12月議会で基本計画案を議案上程し議会審議に諮る予定である。

ビジョンブックについては、9月議会で認められているため、可能な部分は反映していきたい。委員の皆さまへのビジョンブック配布は3月頃を予定し、それに合わせて基本計画の冊子もお送りする。市民には4月の広報の配布日に合わせてビジョンブックを配付する。基本計画については配付せずビジョンブックだけを全戸配付する予定である。

全体を通して質疑があれば願います。

(質問、意見なし)

【事務局】

それでは、副会長にごあいさつをお願いします。

【副会長】

長時間にわたり真剣に討議していただき感謝する。土岐市や多治見市でも同様のものを作っているが遜色はないと思っている。今後はこれをいかに活かすかということであり、皆さまもそれぞれの場で基本計画を広げ、活かす方向に協力をお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。それでは、最後に理事兼総務部長よりあいさつする。

【理事兼総務部長】

長時間の審議に感謝する。1年8カ月わたり審議をいただいたことになる。それぞれの皆さまの知見、ご経験からの意見を多くいただいた。全てを反映できなかった点もあったかと思うが、今後、計画に基づいた実施計画、さらに予算化という形で皆さま方に成果が見える形で取り組んでいきたいと思うので、今後もご意見、ご協力を頂ければと思っている。本日、そしてまた長きにわたりご審議を頂き、ありがとうございました。

【事務局】

私たちも第7次瑞浪市総合計画を作るためにいろいろ工夫して努力してきたが、至らなかつた部分もあったと思うが、今後も皆さまのご経験とお力をお借りしながら、第7次瑞浪市総合計画の実現に向けて推進していく。

これにて、第11回瑞浪市総合計画審議会を閉会する。長期間にわたり、ありがとうございました。